学校だより　令和５年度　第５号
＊＊

協働

＊＊
令和５年９月１５日発行　　奥多摩町立奥多摩中学校

応援の力

校長　原　善哉

夢と希望を語る夏休みはいかがでしたか。お子様とのすてきな時間となりましたでしょうか。私は３年ぶりに本格的に再開した夢と希望の海外派遣事業に校長として同行させていただきました。バイロンベイ高校との交流のなか、派遣生徒達の頑張りと、バイロンベイ高校の先生、生徒達の優しさや心遣いを実感することができました。

持ち帰った様々なものは、奥多摩中の教育にも生かしてまいります。来年にはバイロンベイ高校の受け入れがございます。ホームステイや奥多摩の体験プログラム等、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さてバスケットボールやラグビーの W 杯が盛り上がりを見せています。スポーツはいつも私たちに、元気を与えてくれます。そして選手達も「皆様の『応援』が力になりました！」と謙虚にそして感謝の気持ちをもって答えてくれます。「応援」とは本当に強い力を持っているのですね。

最強のプロゴルファー、タイガーウッズ選手。彼の強さの秘密をご存じでしょうか。それはきっとたくさんあると思いますが、特に「応援」にちなんだお話をします。ある大会で、ウッズが１位で全ホールを打ち終わり、２位の選手が最終ホールで同点をねらっています。このパットを外せば、ウッズの優勝が確定、決まれば同点でプレーオフ（延長戦）という緊迫した場面です。このとき、もし皆さんがウッズだったとしたら、どんな気持ちで見守るでしょうか。

なんとウッズは「頑張れ！決めてくれ！」と心から相手を応援する（できる）というのです。何千万円という賞金のかかった試合です。誰もがそのまま勝ちたいと思うはず。本当なのでしょうか。

結果は、２位の選手が見事カップインし絶好調の中で延長戦スタートです。迎え撃つウッズは追いつかれて厳しい試合になると思いきや、安定したパフォーマンスを発揮し、難なく延長戦を制して見事優勝するのです。

なぜウッズは焦ることなく延長戦に臨めたのでしょうか。同点となった二人の選手は、知力・体力・時の運、すべてが互角です。しかし最後のホールでカップインし追いついた対戦相手は、うれしさで気持ちは絶好調です。すべて互角の選手同士の延長戦ならば、絶好調の方が勝つ可能性は大です。実はウッズは、こうなることを知っています。もしウッズが「外せ」と願って追いつかれたなら「あーあ」とがっかりして、最悪の気分（絶不調）で延長戦です。敵（ライバル）であっても心から応援しているのでボールがカップに入った瞬間、入れた本人よりも喜びます。「こんなに強く、すばらしい選手と更に戦えるなんて、本当にうれしい！最高だ」と相手を上回る絶好調で延長戦に臨み、最終的には勝ってしまうのです。

これぞ一流のアスリート。さすがとしか言葉がありません。

しかし最強ウッズも、はじめからそうできたわけではありません。心から応援できるようになるまで、ゴルフの練習と同じように、何度も何度も応援する練習したそうです。その結果、自然に心から相手を応援できるようなメンタルに成長していったのでした。　　～「スラムダンク勝利学」辻秀一氏の講演より～

この話から学びたいことが４つあります。

１　応援は誰かの力になるのと同時に、自分の力として返ってくるということ。
２　対戦相手を応援するという難しいことも練習によって、自然にできるようになるということ。
３　運動や楽器、勉強などの技能だけでなく「考え方」も練習をすれば身につく（習慣付く）ということ。
４　応援はスポーツのためだけのものではなく、日常生活の中すべてに当てはまるということ。

お互いの力を押し込め合う事ではなく、応援によってお互いの力を発揮させ合う事がスポーツの理想ならば、私たちもお互いにお互いを応援しながら生きていきたい。フレーフレー中学生、フレーフレー奥多摩町。